

力になれたらうれしい...来てくれてありがとう



草刈り作業に訪れた北山梅子さんの自宅前で

NTT労働組合
ドコモ本部



社会福祉協議会

村社協は、支援者と村民をつなぐ架け橋でもあります

NTT労働組合ドコモ本部による支援活動が、5月から6月の連続7週にわたり、村内で展開されています。全国の組合員有志が、毎週木曜日にいわき駅に集合。金・土曜日に、事前に希望を受け付けた村民の自宅の草刈りなどを行っています。

活動の初日、5月11日には、宿泊体験館「きこり」で結団式があり、執行委員長の高橋聡さんが「若い力を活かして、村の皆さんの帰還を円滑にするお手伝いができればと思う。長く地道に取り組んでいきたい」とあいさつしました。同組合と村社協をつないだ認定NPO法人BHNテレコム支援協議会の理事・吉岡義博さんは「村に帰るお手伝いができるようになり感慨深い。復興を見届けるまで支援を続けたい」と震災直後から続く支援を振り返りました。

被災以降、多くの方からいただいた数え切れないほどの支援や応援。いつか「お互いさま」を返せるよう、日々の「一歩一歩」を大切にしていきたいですね。

こんなに大勢の人に
来てもらって、
いやあ、うれしいよ



北山梅子さん(右)は自宅の草刈りを一緒に行いました。左は父親の初美さん(飯樋町)



結団式の日、食事を提供した渡邊とみ子さん(写真右端/前田・八和木)が、語り部としても交流

村民
ボランティア



社会福祉協議会



お茶のみ会は、
花の情報が得られて
有意義だったよ

仲間と一緒に
活動しています

菅野昌基さん・トシ子さん夫婦(宮内)は、阿部ミチルさん(写真右/宮内)の送迎でお茶のみ会に参加しました

前のページで紹介した「お茶のみ会」には、「地域お助け合い事業」の送迎を利用して来場した方もいました。この事業は、高齢者のみの世帯や日中独居の高齢者、身体に障害を持つ方などを対象に、送迎や片付け、草刈りや雪かきなどの家事支援を行うもの。サービス(支援活動)の担い手も、村社協に登録した村民です。サービスを受けた人も、あらかじめ利用登録をして、利用時に1回300円を支払います。「お互い様」の共助の心を大切にした取り組みなのです。※「地域お助け合い事業」や「お茶飲み会」の送迎については、村社協までお問い合わせ

「お互いさま」をつなぐ力

せくください。【村社協 ☎0244(42)1021】

村社協では他にも、民生委員や児童委員、赤十字奉仕団、各ボランティアサークルと協力し、連携した事業を行っています。

また、老人クラブ連合会はじめ、高齢者の活動にも協力しています。老人クラブ連合会は、多くの活動を継続して、避難中のコミュニティの維持や、会員の健康増進に貢献してきました。さらに、子どもたちに昔遊びや年中行事を伝える「シニアサポーター事業(平成28年度実施)」などでは、高齢者の皆さんに、地域福祉活動の担い手として、活躍していただいています。

飯舘村
老人クラブ



社会福祉協議会



老人クラブ連合会の総会も今年は村内で開催(5月1日)